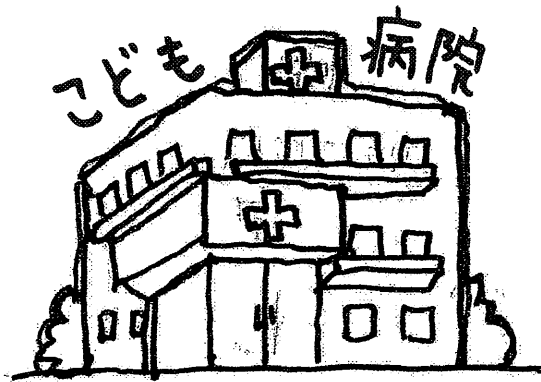


シンポジウム

市民の命を守る市立病院の役割ってなに?
~こども病院を守るために私たちにできること~



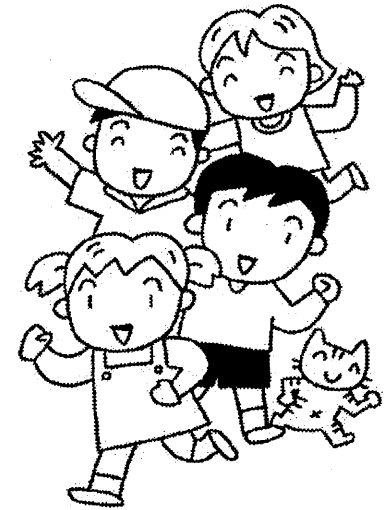
とき 3月1日(日)
午後1時30分~

ところ あいれふ 10階大講堂
(地下鉄赤坂駅より徒歩4分 少年科学文化会館となり)

参加費300円

主催 こども病院の人工島移転に反対する連絡会
連絡先 電話092-712-3227 FAX092-751-5002 福田光子

福岡市は、こども病院人工島移転を決定し、「地方独立行政法人」「PFI」などを導入する「新病院基本構想」をすすめています。しかし、人工島先にありきの「検証」、ゼネコン再見積りの文書破棄などの問題が噴出。子どもの命と引き替えにした人工島の破たん救済への怒り、こども病院を守ってほしいという願いはますます広がっています。こうした声を寄せ合い、ともに考える機会としてシンポジウムを開催します。様々な立場の方々にご参加いただき、人工島移転ストップの運動をさらに大きく盛り上げましょう。



シンポジウム 主な内容(予定)

- ・「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」
石村善治代表委員のあいさつ
- ・連帯のあいさつ
「福岡市立こども病院の人工島移転撤回を求める市民会議」
代表・羽田野節夫弁護士
- ・小児医療のバランスなどについて
小児科医師 正木公子さん(千鳥橋病院副院長)
- ・検証「偽装」、新病院基本構想について
市議会議員 中山郁美さん(共産党・病院事業運営審議委員)
- ・独立行政法人化について
福岡自治労連書記長 懸谷 一さん
- ・「連絡会」の運動の経過と成果などについて
元短大教授 福田光子さん
- ・質疑応答

シンポジウムの後は…

プラカード、のぼり、横断幕など
持ち寄ってにぎやかに!

市民による総決起集会・デモ行進
午後5時~ 浜の町公園→市役所
(あいれふ近く)

主催：福岡市立こども病院の人工島移転撤回を求める市民会議